

令和 2 年度第 1 回山形県男女共同参画審議会（書面開催）
次期山形県男女共同参画計画体系（案）に係る意見の概要と意見に対する県の考え方

○提出された意見の件数 28 件（意見者数 8 人）

○提出された意見の概要と意見に対する県の考え方

意見の概要	県の考え方
■全体について	
<p>1. 現行計画を踏襲するという視点に立たなくてもよいのか、現行計画をベースにして、目標に対する到達度やまだ改善できないところなど目標達成の状況に応じた基本の柱だてで良いのではないか。</p> <p>2. 27 年に女性活躍推進法が施行されており、山形県では現行計画の中に推進計画を盛り込み、あらゆる分野における女性の活躍を柱の 1 つに掲げている。次期計画には、その計画が明確化されていないが、法的根拠が違うので現行計画同様に柱を別にした方が施策を打ち出しやすいのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行計画の数値目標の達成状況や取組みの進捗状況、「令和元年度ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画及び女性活躍に関する県民意識調査」や各団体への意見聴取、社会情勢等を踏まえ、取組みを強化すべきところを重点的に柱建てを行ったところです。 ・ 女性活躍推進法の部分は基本の柱Ⅰのうち施策の方向 3 及び基本の柱Ⅱのうち施策の方向 4、5 としています。
■現状分析について	
<p>3. 【男女共同参画に関する意識】～【ひとり親家庭】の内容について、元年度に実施した県民意識調査の結果を反映したものが少なく、様々な統計データを入れているので却って分かり難くなっている。</p> <p>4. 現行計画の施策の体系「基本の柱」に沿ったところで、現状として特筆される事項を入れるという考え方もあると思われる。</p> <p>5. 最初の「・教育・メディア等……」の箇所について、次の「・市町村の審議会等…」他は数的な記述になっているので、統一した方が良いのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民意識調査の結果については本編の現状分析において、反映させていきます。 ・ 同上 ・ 次期計画（案）のとおり修正しています。
■踏まえるべき社会動向について	
<p>6. 社会動向より社会情勢のほうが適当と思われる。</p> <p>7. 【頻発する……】について、5 年間計の計画とみた場合、新型コロナウイルスの記述でよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画（案）のとおり修正しています。 ・ 新型コロナウイルス感染症への対応で顕在化した課題があることを明確にしています。

<p>いのか。類を見ない感染症等など別表現でも。次の文面で「固定的な役割分担意識を反映して」の箇所は必要か。むしろ、そのような事態に備えた男女共同参画の視点による対応が必要であることの記述が欲しい。</p> <p>8. 【若年女性の県外流出】について頷ける内容であり、資料1の(4)の①に記載されているが、人口減少や少子高齢化の課題もあるなかで、女性流出に限定した記述になっているのは、特に次期計画で取り組みをすべきと考えてのことか。</p> <p>9. 「・女性の意見・考え方……」のデータはこの個所でよいのか。関連性がみえないが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お見込みのとおり。 ・ データを「女性の意見・考え方の反映について」に変更しています。
■課題について	
<p>10. 新計画の施策の柱の部分に繋がるところです。もう少し→の先を意識した記述が必要かと思う。……が十分でない、……が浸透していない、……が不足しているといった流れが分かったほうがよいのでは。箇条書きにしても。</p> <p>11. 県民意識調査の結果からも、もう少し課題は洗い出せるのではないか。</p> <p>12. 「若年女性に選ばれるための仕組みづくり」の表現が分かり難い。若年女性の流出を食い止める手立てが必要とされているということか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画（案）のとおり修正しています。 ・ 県民意識調査の結果から評価しているところではありますが、枠の範囲内で代表的なものを取り上げております。なお、本編の現状分析において、県民意識調査の結果及び課題についてより詳細に反映させていきます。 ・ 次期計画（案）のとおり修正しています。
■新計画の体系について	
<p>13. 課題が現状で4つに分類されているので、施策の方向としては3本の柱より4本（それ以上）の柱にした方が整理しやすいのではないかと。女性活躍推進計画法の推進計画を新計画にも反映させるのであれば、独立した柱立てが必要かと考える。自ずと4～6の施策の方向における記述も変わっていくと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の「女性の活躍推進」の実現のためには「働く環境の見直し」が不可欠であり、両者は、一体的に取り組むべき事項であると考え、一本の柱に集約しています。女性活躍推進計画の部分については施策の方向3，4，5の部分と考えています。

I 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり	
[1 男女共同参画の意識を育む教育の推進と性別による固定的な役割分担に関する意識改革]	
⇒ [1 教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進]	
<p>14. 教育・メディアを通じた意識改革、理解の促進は重要。メディアの影響力が大きいので教育と一緒にしていくのはよい。</p> <p>15. I - 1、II - 6 が進み地域に変化がなければ、回帰はみこめないの、男性の意識、理解の向上に期待。</p> <p>16. 現行計画のように2つに分けた方が分かりやすいのでは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の方向1を「教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進」に修正しています。 ・ 女性の県外流出の背景には、固定的な性別役割分担意識が根強く存在していることが指摘されており、各分野で「男性が優遇されている」という意識はまだ残っている状況です。あらゆる分野で性別による無意識の偏見・思いこみの解消に向けた取組みを加速化していきたいと考えています。 ・ 「男女共同参画の意識を育む教育の推進」と「性別による固定的な役割分担に関する意識改革」には、取組みに重複する部分があり、一体的な課題と捉えて取組みを推進することが効果的と考え、次期計画（案）のとおり修正しています。
[2 若年女性に選ばれる山形県を目指した魅力の創出・発信]	
⇒ [2 若年女性が幸せに暮らし働けることができる山形県の魅力の創出・発信]	
<p>17. ライフスタイルに応じた仕事の創出、働き方支援とあるが、ナリワイの創出など女性の起業支援を安易にするのは、注意が必要。なぜならばほとんどの自営業者は年収が200万と低いこと、社会保障が十分ではないことから。女性の起業を支援するのであれば、事業が軌道にのり十分な年収を確保できるよう長期の伴走型支援が必要。男性と同じように安定した収入があり自分を活かせる就職先の選択肢の多さが魅力となると思う。</p> <p>18. 「選ばれる」という表現が適当なのか、若年女性だけをターゲットにしてよいのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会に向けては、女性もやりがいや十分な所得が得られ、ライフステージ・時間・場所に柔軟に対応した多様な仕事の創出が必要と考えております。女性が経済的に自立しながら、多様な働き方の選択が可能になるよう、事業の構築に際しては、御意見を参考にしていきます。 ・ 近年、女性の転出超過が男性を上回る傾向が顕著であり、とりわけ、総務省の「住民基本台帳人口移動報告」（令和元年）によると若年女性の転出率は、全国ワースト1位となっており、若年女性の流出に歯止めがかからない現状を重く受け止めているところです。内閣府の調査では、地方出身の若い女性が東京で暮らし始めた目的や理由として「地元や親

	<p>元を離れたかった」といったことがあげられ、背景に固定的な役割分担意識や性差への偏見が根強く存在していることが指摘されています。女性が活躍できる地域社会の構築は、地方創生の鍵であり、少子化・人口減少への対応に資するものです。そのため、県では、若年女性の意見・ニーズの把握や施策への反映等、若年女性にターゲットを絞った「施策の方向」を定め、重点的に取り組んでいきたいと考えています。なお、「選ばれる」という表現は上記のとおり修正しています。</p>
<p>[3 防災をはじめとした多様な分野における男女共同参画の推進] ⇒ [3 防災・科学技術・学術分野等における男女共同参画の推進]</p>	
<p>19. 課題の所にも通じるが、柱の1に置くのは適当なのか。むしろ「安全安心に暮らせる社会づくり」への方が適当と思われる。</p> <p>20. 県防災会議の委員として、何度か提案させていただいた。重点分野としていただいた点、とても評価したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災分野をはじめとした女性の割合が依然として低水準にとどまっている分野における女性の参画の取組みを強化していくことは、男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくりとして重要と考えています。 ・ 非常時には、平常時における固定的な役割分担意識を反映して、社会課題が一層顕著になって現れます。本県においても、7月の大雨など、大きな災害が発生しており、内閣府が5月に策定した「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」も考慮しながら、防災分野への女性の参画や、男女共同参画の視点の反映を重点分野として強力に進めていきます。
<p>II あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり</p>	
<p>[4 政策・方針決定過程への女性の参画拡大]</p>	
<p>21. ①女性の登用促進（自治体・企業・団体等）について、企業については、企業（職域拡大、管理職登用）を追記していただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画（案）のとおり修正しています。
<p>[5 雇用等における男女の均等な機会・待遇の確保とワーク・ライフ・バランスの実現]</p>	
<p>22. 待遇の確保までの部分とワーク・ライフ・バランスの実現は切り離し、個別に設けた方が施策に反映しやすいかと思う。「雇用」と「ワーク・ライフ・バランスの実現」は、計画推進において最も重要な視点であり強調すべきところ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用等における男女の均等な機会・待遇の確保とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた施策については、密接に関係するものであり、一体的に推進することにより取組みを加速させていきたいと考えております。

<p>23. ①「新型コロナウイルス感染症の経験を契機として」と、それ以下「短時間労働や年次有給休暇の促進等、中小企業における柔軟な働き方を一気に推進」の文言が繋がらない。</p> <p>24. ①短時間労働を促進するのではなく、「雇用の保護」が大事だと思う。</p> <p>25. ①「柔軟な働き方」に「短時間労働や年次有給休暇の促進」に加えて、「リモートワーク」を追加するべき。</p> <p>26. ③「結婚・育児等」⇒「<u>出産・育児等</u>」の方がよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画（案）のとおり修正しています。 ・ 次期計画（案）においては、「働き方の新しいスタイル」の導入、両立環境の整備に努め、緊急事態においても辞めずに働ける環境を整えていきたいと考えています。 ・ 「柔軟な働き方」にはフレックスタイム制や時差出勤など「リモートワーク」も含んでいると考えています。 ・ 「出産」を追加しています。
--	--

[6 家庭・地域における男女共同参画の推進]

<p>27. ②「男性の家事・育児・介護への参画促進」について、「男性の～」という表現に違和感がある。データ上では男女の差がかなりあるかと思うが、私の周りでは、パパが家事・育児をしていることは当たり前となっているように感じる。また、女性活躍・女性・女性・・・と女性優遇のように見えてしまうし、男性たちも世の中のそういった風潮に反発をしている気がする。男性が0から参画するという表現より「<u>家族みんなが家事・育児・介護に参画できるような社会の創出</u>」のような、表現の方がいいのではないか。</p> <p>28. ②PTA の役員やリーダーとしての女性参画とあるが、その前に男性女性とも男女共同参画の知識が不足しているので、研修会などで学ぶ必要があるのではないか、(3位男性の意識、理解がたりない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「家族みんなが家事・育児・介護に参画できるような社会の創出」はまさに目指すところです。県民意識調査において、夫婦の役割分担について、現状は「夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う」、理想は「夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する」が最も多く、現実と理想で未だ大きな乖離があり、次期計画（案）では男性に対する家事・育児・介護への参画をより強化していきたいと考えています。 ・ これまでも「チェリア」や市町村・総合支庁の活動や男女共同参画推進員による活動等、男女共同参画を学ぶ機会を提供しているところです。今後も、引き続きI-1①②等においても学ぶ機会を提供していきたいと考えています。
--	---

Ⅲ 安全・安心に暮らせる社会づくり

[9生活上様々な困難を抱える人への対応と多様性を尊重する環境の整備]

<p>29. 困難を抱える人と多様性〈性的少数者〉への配慮の部分は内容が大きく違ふと同時に、今後の男女共同参画推進のキーポイントになる事項かと思われるので、2つは切り分けた方がよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9-③に多様な性的指向・性自認への理解促進と項目を追加しています。
---	---

